

モトクロスを経験生かせる職業選択

9歳からポケバイ

モトクロスの選手だった高橋が、オートレーサーを目指したのは、自然の流れだった。20歳まで参戦していたが「今後のことを考えて、賞金が入るオート選手になろうと思った」と振り返る。

9歳からポケバイに乗り、全日本モトクロス選手権を見て感動して選手になった。16歳だった12年に同選手権レディースクラスで年間10位、14年には同4位になった。アルパイトを続けながら参戦していたが、生活できるかどうかの将来

高橋絵莉子 (21=伊勢崎)



は見えない。モトクロスの経験を生かせる職業は、オートレーサーだった。選手養成所の毎日は楽しかった。「大好きなバイクに乗れますから」。だが、練習中に落車し、右足首を骨折。「あゝ、やっちゃた

〜、という感じでした」。デビューは遅れることになったが、レースをしっかりと見て、勉強している。「長いスパンで考えれば、遅れは取り戻せると思います」と前を向く。

卒業式でサムアップをする高橋絵莉子

◆高橋絵莉子 (たかはし・えりこ) 1996年(平8)2月8日、埼玉県生まれ。モトクロス選手から転身。師匠は中畠哲也。趣味はモータースポーツ。155センチ、59.5キログラム。血液型O。

「天野保彦」